氏名　福　永　仁　夫	職名　学　長	大学院における研究指導担当資格の有無(㊒・無)

Ⅰ 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概　　要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ 研究活動

著書・論文等の名称	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書				
平成21年度総括･分担研究報告書	2010年	厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業	福永仁夫	25頁
「臨床栄養」別冊JCNセレクト2　ワンステップアップ栄養アセスメント基礎編	2010年 7月	医歯薬出版	福永仁夫、友光達志	39-44頁
骨粗鬆症のマネジメント	2010年10月	医薬ジャーナル社	福永仁夫、曽根照喜	23-27頁
骨代謝マーカー	2010年12月	医薬ジャーナル社(改訂版)	福永仁夫	108-112頁
論文				
Diagnosis of myocardial viability by fluorodeoxyglucose distribution at the border zone of a low uptake region.	2010年	Yonsei medical journa l51(2)	Toyota E, Sone T, Yoshikawa K, Mimura H, Hayashida A, Wada N, Obase K, Imai K, Saito K, Maehama T, Fukunaga M, Yoshida K	178-186頁
骨密度測定と骨粗鬆症の臨床研究	2010年	川崎医学会誌 36	福永仁夫	1-9頁
－最終講義－骨塩定量法の25年－開発から骨粗鬆症へ	2010年	川崎医学会誌 36(2)	福永仁夫	153-157頁
Ⅳ. 生化学的検査 (2) D. 骨代謝マーカー. I型コラーゲン架橋N－テロペプチド(NTX).広範囲 血液・尿化学検査　免疫学的検査－その数値をどう読むか－第７版－	2010年	日本臨床68(増刊1)	福永仁夫	248-251頁
骨粗鬆症における画像診断DXAによる大腿骨近位部ジオメトリー評価の臨床応用に対する委員会報告	2010年 4月	Osteoporosis Japan 18(2)	曽根照喜、福永仁夫、友光達志、藤原佐枝子、太田博明、尾上佳子、萩野浩、三木隆己、山崎薫、楊鴻生、吉村典子、中村利孝	199-203頁
わが国における骨粗鬆症検診の実態と問題点	2010年 4月	Osteoporosis Japan 18(2)	山内広世、西川憲、折茂肇、細井孝之、福永仁夫	161-164頁
Hip structural analysisによる骨強度評価と大腿骨近位部骨折の検討－広島コホート調査－	2010年 4月	Osteoporosis Japan 18(2)	小山宏子、藤原佐枝子、増成直美、山根和美、福永仁夫	209-212頁
関節リウマチ（第２版）　骨塩定量法	2010年 5月	日本臨床 68(増刊号5)	福永仁夫、曽根照喜、友光達志	299-302頁
骨粗鬆症の診断の基本ツールとその活用法　骨粗鬆症の画像とその読みかた	2010年 6月	Medical Practice 27(6)	福永仁夫	941-945頁
Current status of hip bone densitometry in Japan: a nationwide survey	2010年11月	Journal of Bone and Mineral Metabolism 28(6)	Yamauchi H, Fukunaga M, Nishikawa A, Orimo H	719-721頁

Design of a pragmatic approach to evaluate the effectiveness of concurrent treatment for the prevention of osteoporotic fractures. Rationale, aims and organization of a Japanese Osteoporosis Intervention Trial (JOINT) initiated by the Research Group of Adequate Treatment of Osteoporosis (A-TOP).	2011年 1月	Journal of bone and mineral metabolism 29(1)	Shiraki M, Kuroda T, Miyakawa N, Fujinawa N, Tanzawa K, Ishizuka A, Tanaka S, Tanaka Y, Hosoi T, Itoi E, Morimoto S, Itabashi A, Sugimoto T, Yamashita T, Gorai I, Mori S, Kishimoto H, Mizunuma H, Endo N, Nishizawa Y, Takaoka K, Ohashi Y, Ohta H, Fukunaga M, Nakamura T, Orimo H	37-43頁

Ⅲ 学会等および社会における主な活動

年　　月	内　　容
	日本医学放射線学会会員
1974年～現在に至る	日本核医学会会員
1984年～現在に至る	日本核医学会評議員
1988年～現在に至る	日本骨代謝学会会員
1990年～現在に至る	日本骨形態計測学会会員
1993年～現在に至る	日本骨粗鬆症学会会員
1993年～現在に至る	日本骨粗鬆症学会理事
1995年～現在に至る	日本骨形態計測学会理事
1998年～現在に至る	日本画像医学会会員
2002年～現在に至る	骨粗鬆症財団理事
2002年～現在に至る	日本心臓核医学会評議員
2002年～現在に至る	骨粗鬆症財団理事
2002年～現在に至る	日本心臓核医学会会員
2002年 4月～現在に至る	骨粗鬆症財団理事
2002年 4月～現在に至る	倉敷市健康教育嘱託